

きたかみ 社協だより

社協は、社会福祉協議会の略称です。

No.187

発行：令和2年4月24日

編集発行 社会福祉法人 北上市社会福祉協議会 〒024-0012 北上市常盤台二丁目1番63号
TEL 0197-64-1212 FAX 0197-64-7580 E-mail shakyou@kitakami.ne.jp ホームページ <https://www.kitakami-shakyo.jp/>
この「きたかみ社協だより」は赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

元気にすくすく
育っています

社協から借りたチャイルドシートを使って、お食い初めにお出かけ♪

二子町 佐藤さん

社協だよりの表紙に掲載する写真を募集しています!

きたかみ社協だよりを、より身近な広報誌ととしてご覧いただけるよう、表紙の写真を募集しています。「しあわせ」「心温まる」「ほっこりする」など福祉を感じさせる写真をご応募ください。

※必ず、写っている人物の承諾を得てください。

例えば・・・お孫さんと一緒に野菜を収穫している写真・地域行事の風景・おじさんが家事をお手伝いする様子 などなど

●写真データを外部記憶媒体（USBなど）に収めて当協議会地域福祉課まで持参するか、電子メールに添付して送信してください。その際、①タイトル、②写真の説明、③氏名、④住所、⑤年齢、⑥電話番号、⑦Eメールアドレスを記載してください。（現物の写真の場合、編集過程で画質が落ちてしまうため、データでの投稿を推奨しています。）



『新年度のスタートにあたり』

社会福祉法人北上市社会福祉協議会
会長 小原善則

新型コロナウイルスの世界的な大流行により、大混乱となった年度末となりました。楽しみにしておられた事業も延期や中止とする等、大きな変更もあり、関係の皆さまにはたいへんご迷惑をおかけしてしまいました。市民の皆さまにはお元気で新年度をお迎えになられたでしょうか。たいへん厳しい経済状況も拍車をかけてきており、支援を必要とされる皆さんにとりまして、これまで以上に日常生活に大きな影響が出てきているのではないかと、心配しております。

たいへん厳しい環境の中、令和2年度は、第4次北上市地域福祉活動計画の2年目を迎えました。今年度も将来像として掲げました『支え合い 誰もが安心して健やかに暮らせる地域社会』の実現に向けて、役職員一体となり、北上市の地域福祉の充実・向上のため、全力で努力して参りますので、市民皆さまの更なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。ともにこの難局を乗り切りましょう。

【令和2年度】

社会福祉法人北上市社会福祉協議会 事業計画

ー基本方針（抜粋）

国は、誰もがより長く元気に活躍し安心して暮らすことができるよう、人生100年時代に対応した全世代型社会保障の構築に取り組むとの方針のもと、その柱の一つに、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に作り高め合う地域共生社会の実現を掲げ、取り組みを強化していくとしています。

地域共生社会の実現は、昨年度からスタートした当協議会の第4次北上市地域福祉活動計画の将来像「支え合い誰もが安心して健やかに暮らせる地域社会」に通ずるものであり、当協議会としても、多様化、複雑化する社会福祉ニーズに対応するための支援体制整備や、生活困窮者、ひきこもりをはじめとした社会的課題や制度の狭間にいる方々に対する支援への中核を担っていかねばなりません。

あわせて、岩手県沿岸部を中心に大きな被害をもたらした昨年の台風19号をはじめとした災害を教訓に、災害ボランティアセンターの設置運営を担う当協議会として、災害時の備えを点検し、万全の準備をしておく必要があります。

こうした中において、合併による現在の北上市社会福祉協議会発足から30年目を迎える本年度は、地域福祉活動計画5か年の2年度目であり、順次、具体的な事業着手や本格的な事業展開を行う重要な年度となります。

このことから、30回目の節目となる社会福祉大会を、地域共生による豊かな福祉社会を実現するための共通認識を、改めて深める機会とするほか、地域福祉活動計画の基本目標に係る本年度の設定指標の達成に向けて各般の事業活動を展開して参ります。

本年度の事業の計画に当たっては、消費税増税や自

主財源が伸び悩むなど厳しい財政環境にあつて、第4次北上市地域福祉活動計画に掲げる10の重点項目

1 生活困窮者等支援の強化

2 コミュニティソーシャルワーカーの配置による実践的な地域支援の取り組み

3 ボランティア活動センターの機能強化

4 地域福祉と地域づくりの一体化

5 高齢者ふれあいデイサービス事業を活用した地域づくりの推進

6 災害時における円滑な避難支援体制づくり

7 権利擁護の総合的な支援の推進

8 生活支援コーディネーターの配置による高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備

9 社会福祉法改正、社会福祉法人改革に対応した取り組みの推進

10 福祉事業（サービス）や福祉活動の情報提供の仕組みづくり

を基本として、事務事業の見直しを行うとともに、新たな事業にも積極的に取り組んで参ります。

事業の実施に当たっては、市民、自治会、ボランティア、企業・事業所、行政、民生委員・児童委員、福祉協力員並びに福祉、医療、保健の関係者の方々と、密接な連携を図り、地域福祉活動計画に掲げる次の5つの視点

1 お互い様の気持ちをもって

2 その人らしく安心して暮らす

3 孤立しないようにつなげる

4 より良いサービスを

5 市民・地域とともにある社協

を大切に、当協議会が掲げる将来像「支え合い誰もが安心して健やかに暮らせる地域社会」の実現を目指して、各般の事業に取り組んで参ります。

II 重点事項 と具体事業

北上市地域福祉
活動計画基本目標

① 地域福祉を担う人づくり

●きたかみ社協だより発行事業 ●社会福祉大会 ●福祉成人祝賀会 ●敬老会事業への支援 ●地域福祉懇談会 ●あいさつ運動推進事業 ●社協出前講座 ●ボランティア講座 ●福祉協力員活動事業 ●ボランティア活動センター事業 ●福祉人材Reスタート事業 ●ハウスクリーニング☆プロジェクト ●いきいきシヨップ☆ゆめいちば ●車いす修理ボランティア事業 ●児童・生徒のボランティア活動に係る情報交換

② 地域福祉を支えるネットワークづくり

●ふれあいのまちづくり事業及び地域住民グループ支援事業（小地域ネットワーク活動） ●避難者生活支援センター事業 ●コミュニケーションソーシャルワーカー活動事業 ●生活支援コーディネーター活動事業 ●広域社協事業

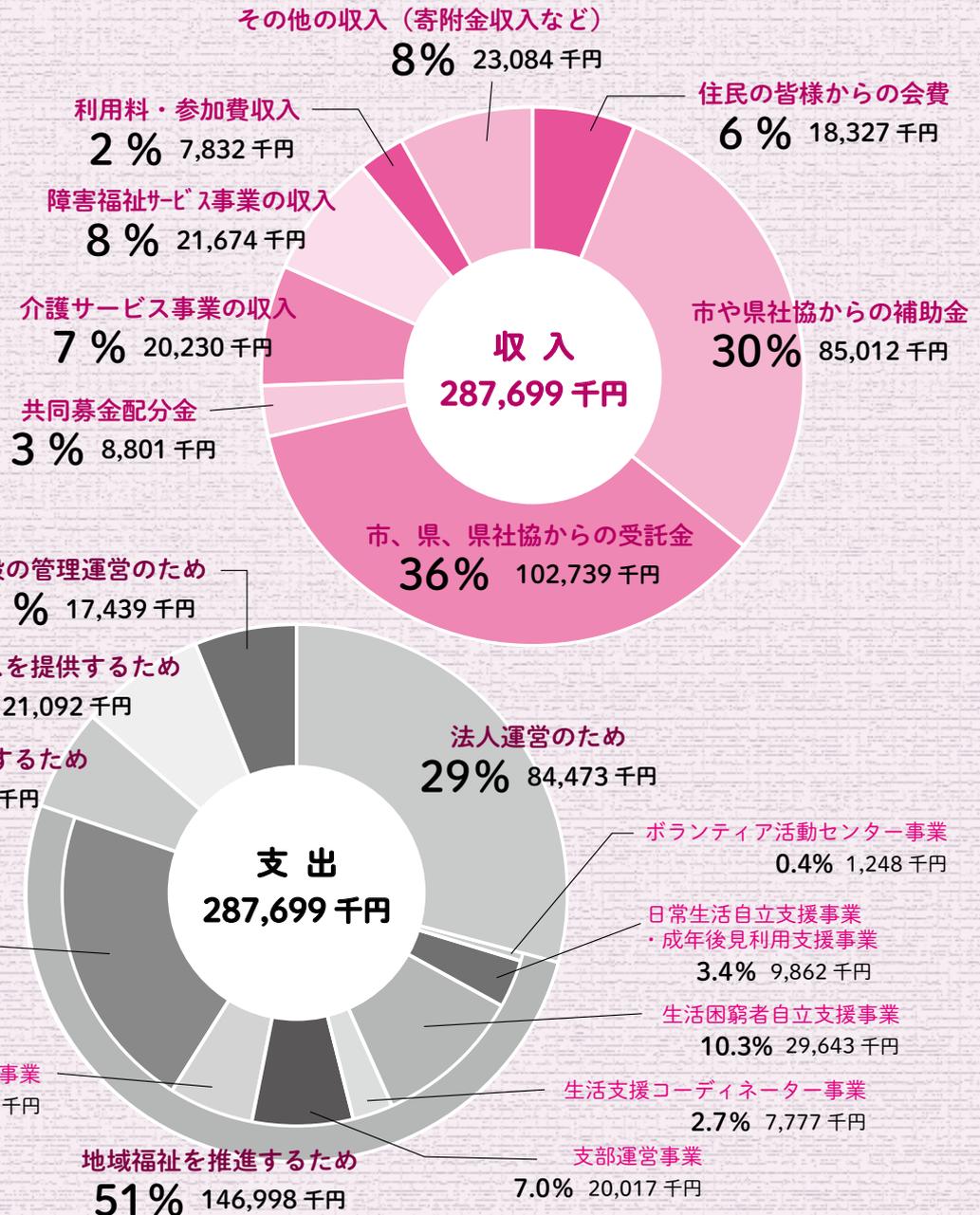
③ 充実した福祉サービスの仕組みづくり

●なんでも心配ごと相談センター事業 ●なんでも心配ごと出張相談事業 ●相談員スキルアップ事業 ●トータルガイドブック作成事業 ●ひきこもり等支援事業 ●日常生活自立支援事業 ●車いす及びチャイルドシート貸出事業 ●在宅高齢者等配食サービス事業 ●日常生活関連動作訓練事業（介護予防食事業） ●北上おげんき発信事業 ●障がい者等生活支援事業（視覚障がい者生活訓練教室） ●声及び点字広報作成事業 ●居宅介護支援事業 ●障がい者相談支援事業 ●訪問介護事業 ●障害者等移動支援事業 ●成年後見利用支援事業 ●訪問理美容事業（ふれあいのまちづくり事業） ●住まいの片付け応援事業 ●ふれあいデイサービス事業 ●障害者地域活動支援センター事業 ●障がい者等リフレッシュ事業 ●子育て支援事業 ●ひとり親世帯支援事業 ●出会いの場づくり事業 ●生活困窮者自立支援事業 ●フードバンク運営事業 ●子どもの学習支援事業（まるまる学び塾） ●地域まるまる食堂（子ども食堂）事業 ●たすけあい資金貸付事業 ●生活福祉資金貸付事業

④ 暮らしやすい地域環境づくり

●支え合いマップ作成事業 ●救急医療情報キット配布事業 ●買い物支援事業 ●ふれあい移送サービス事業 ●あんしん生活応援講座 ●地域福祉活動応援事業 ●災害ボランティアセンター事業 ●社協出前講座（病気及び障がい理解編）

令和2年度 予算



令和2年度 北上市社会福祉協議会 事務局体制

課名・職名		氏名
事務局長		松田 幸三
総務課	課長	高橋 勝幸
	係長	佐藤 剛
	課員	岩館 いずみ
	運転手	及川 善治
地域福祉課	課長(兼生活あんしん係長)	鎌倉 陽子 (コミュニティソーシャルワーカー)
	福祉推進係長	高橋 知美 (生活支援コーディネーター)
	主査	関口 剛司 (コミュニティソーシャルワーカー)
	主査	菊池 一希 (コミュニティソーシャルワーカー)
	課員	齋藤 美千代
	課員	菊池 千里
	指導員	亀田 明美
	栄養士	佐藤 真由美
	看護師	千田 タキ
		児玉 イク子
		高橋 清子
相談支援課	課長(兼)係長	菊地里 枝
	相談員	渡辺 津輝枝
なんでも心配ごと相談センター長		小原 善浩

課名・職名		氏名
暮らしの自立支援センターきたかみ	センター長	菊地里 枝
	相談支援員	古川 恵子
		清水 明洋
		及川 浩美
避難者生活支援センター	センター長	佐藤 泰洋
	生活支援相談員	和泉 千枝子
		高橋 さおり
地域福祉権利擁護センター	専門員	及川 健二 (総括)
		藤原 和恵
	生活支援員	高橋 せい子
		及川 邦代
		及川 幸子
		高橋 和弘
		菊池 智子
		高橋 淑恵
		浅野目 ひろみ
		及川 優子
		介護福祉課
上席主任	松井 孝雄 (コミュニティソーシャルワーカー)	
介護支援専門員	照井 理恵	

課名・職名		氏名
訪問介護事業所サービス提供責任者		高橋 峰任 (主)
		大御堂 ひとみ
訪問介護事業所パートヘルパー 16名		
黒沢尻北支部	小原 房恵	
黒沢尻東支部	伊藤 幹	
黒沢尻西支部	高橋 美枝子	
立花支部	今野 マユミ	
飯豊支部	八重樫 好枝	
二子支部	佐藤 良重	
更木支部	小原 一枝	
黒岩支部	多田 和恵	
口内支部	菅野 優紀	
稲瀬支部	菊池 ユリ子	
相去支部	伊藤 ゆかり	
鬼柳支部	名久井 直美	
江釣子支部	高橋 富雄	
和賀支部	阿部 秀樹	
	高橋 陽子	
江釣子老人福祉センター-管理人		伊藤 郁子

職員退職のお知らせ

令和2年3月31日付で、次の職員が退職をしました。(カッコ内は退職時の役職)

- 工藤 司 葉 (地域福祉課主任兼コミュニティソーシャルワーカー)
- 竹田 一 雄 (暮らしの自立支援センターきたかみ相談支援員)
- 小原 加奈子 (地域福祉課栄養士)
- 菅 沼 信 也 (地域福祉権利擁護センター日常生活自立支援事業専門員)
- 八重樫 まゆみ (指定居宅介護支援事業所介護支援専門員)

5月12日は「民生委員・児童委員の日」

民生委員・児童委員とは

「民生委員法」と「児童委員法」に基づいて住民の中から選ばれ、厚生労働大臣から委嘱された、地域福祉の推進役です。このうち、特に児童福祉の相談支援を専門とする人を主任児童委員といいます。民生委員・児童委員は地区ごとに配置されており、主任児童委員は複数の地区にまたがって広く支援をしています。(任期3年・再任可)

全国の民生委員・児童委員(主任児童委員含む)は約23万人、岩手県では3,774人、北上市では200人が活動しています。

地域でどんな活動をしているの？

民生委員・児童委員は、日常生活の困りごとの“身近な相談役”です。お年寄り、心身に障がいのある方、育児や子どもの問題、生活困窮世帯など、生活上の相談に応じながら、必要な支援や関係機関につなげます。また、地域全体の見守り・訪問活動などを日常的に行っています。

当協議会でも、民生委員・児童委員と連携して行っている事業がたくさんあります。(小地域ネットワーク活動、たすけあい資金貸付事業、北上おげんき発信事業、ハウスクリーニング☆プロジェクトほか)

民生委員・児童委員、主任児童委員は、同じ地域に暮らす住民目線で、安心して住み続けられる地域づくりのためにさまざまな活動を行っています。
生活上の困りごとは、民生委員・児童委員、または主任児童委員へお気軽にご相談ください。

お住まいの地域の担当委員を知りたい方は、下記へお問い合わせください。

北上市役所福祉課社会福祉係(電話 72-8213) 北上市社会福祉協議会(電話 64-1212)

子ども食堂に関する 相談等について

～子どもの居場所づくり開設支援のご案内～

現在、子ども達に無料または低額で食事を提供する、いわゆる「子ども食堂」が全国で取り組まれています。(2019年は全国で約3700カ所が開設)



北上市内では当協議会の「地域まるまる食堂」と有志団体「キッチンすまいる」の2団体が実施しております。



子ども食堂を「始めたい、始めてみたい」というきっかけは様々であり、子ども食堂の運営スタイルも多種多様です。

当協議会では、子ども食堂について「関心がある」「実施してみたいけれどどうしたらよいかわからない」という方(地域)に対して、開設のための相談支援を行っています。

お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先：暮らしの自立支援センターきたかみ
電話 72-6074

地域福祉活動応援事業 助成募集のお知らせ

当協議会では、地域福祉力の向上を図るため、地域で行われている福祉活動の充実や新たに取り組む福祉活動などを応援することを目的に助成を行っています。

【助成対象団体】

北上市内で地域福祉活動を行う住民団体

【助成対象活動期間】 令和2年度

【活動内容】

北上市内で、地域福祉を推進する先進的な活動、地域の新たな福祉課題へ取り組む活動や地域福祉活動を通じた地域の活性化を図る活動

【助成金額】 1団体につき10万円を上限

【応募期間】 4月24日(金)～5月13日(水)

お問い合わせ先 総務課

参加者
募集

～お仕事の復帰をお手伝いします～

『福祉人材Reスタート事業』

ホームヘルパーなどの資格があり、結婚や出産、介護などで仕事を一時離職している方、資格はあるが就労していない方を対象に、現行の介護保険制度や障がい福祉サービスの説明、居宅実習を行い、介護技術の振り返りなど再就職に向けた講座を開催します。

日時：6月29日(月) 10:00～16:00

対象：看護師(准看護師)、介護福祉士、ホームヘルパーの資格をお持ちの方

内容：現行制度の説明、介護職の基本視点とマナー、居宅への同行実習など

場所：北上市総合福祉センター

定員：5名

申込み：6月19日(金)までに介護福祉課へ

※新型コロナウイルス感染の状況によっては中止する場合があります。



北上市社会福祉協議会出前講座のご案内

当協議会の取り組みやボランティア活動、キャップハンディ体験(車いす体験、視覚障がい者体験、高齢者疑似体験等)、共同募金に関する事などについて、地域や学校の要請に応じて職員が会場に出向く「出前講座」を行っています。(北上市出前講座に登録)

実施予定日の2週間前までに、当協議会へご連絡の上、講師派遣依頼文書または申込書を提出ください。(北上市生涯学習文化課を通じてもお申込みいただけます。)費用は無料です。

令和2年度は下記の13講座を実施しています。詳しい内容については、地域福祉課にお問い合わせください。

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------|
| ①社会福祉協議会の仕事 | ⑦成年後見制度と利用支援事業 |
| ②地域まるまる す・ま・い・る プラン
(北上市地域福祉活動計画) | ⑧暮らしや仕事、家計管理のお手伝い |
| ③福祉活動・ボランティア活動のすすめ | ⑨赤い羽根共同募金 |
| ④誰もが安心して暮らせる地域づくり | ⑩障がいのある方と接するときに |
| ⑤避難者の生活支援活動 | ⑪地域福祉支え合いマップ |
| ⑥金銭管理や福祉サービスの利用に不安な
方へのお手伝い | ⑫コミュニティソーシャルワーカー
(CSW)の活動 |
| | ⑬福祉協力員が行う地域ボランティア |

information

インフォメーション

社協支部情報

稲瀬支部

この作品は、ふれあいデイサービスに参加している男性の作品です。
 毎回、「暇だからさ！」と言って、絵手紙に俳句や短歌を添えて数枚持参し、茶話会を盛り上げてくれます。いつかは、ふれあいデイサービスの参加者と一緒にとって楽しめればいいなと思っています。



特別会員名簿 (敬称略・順不同、3/31迄受付分)

当協議会の「北上市の社会福祉・地域福祉の推進を図る」という目的に賛同する企業・法人等を特別会員としており、会費の納入や事業への参加により地域福祉の向上に寄与いただいております。

- エクナ(株) ●東北友愛観光(株)
- (株)宮澤商店北上常盤台サービスステーション

特別会員のお申込み・お問い合わせは、総務課まで

ボランティアみみより情報

北上市社会福祉協議会ボランティア活動センターからのお知らせです。

No.56

移送サービス事業

運転ボランティア募集

移送サービスは、在宅で暮らしている高齢者等で既存の交通機関を利用することが困難な方を対象に、病院や公共機関への送迎を行う事業です。その運転ボランティアを募集します。

当協議会の車輛を使用し、利用者を送迎するための運転を行います。

- ・普通第二種免許を所持している方
- ・普通第一種免許のみ所持の方でも、運転者講習(1日)を受講すれば、ボランティア活動ができます。受講料の個人負担はありません。(講習受講後に活動開始となります。)

申込先

北上市社会福祉協議会ボランティア活動センター
電話 64-1212

いわて車いすフレンズ 車いす引き渡し式

アジアの国々では、車いすを購入することができず、日常生活に困っている人たちがたくさんいます。「いわて車いすフレンズ」は県内の工業高校生を中心に、利用されなくなった車いすを修理してアジア諸国へプレゼントするボランティア活動です。

北上市では、黒沢尻工業高校の生徒が車いす修理に取り組んでおり、2月25日(火)に引き渡し式が行われ、修理・整備された車いすを当協議会へ寄贈していただきました。

令和元年度に、黒沢尻工業高校の生徒が修理した車いすは全計22台となり、公益財団法人日本社会福祉弘済会を通じ、アジア諸国で車いすを必要としている方々に贈られます。

なお、この活動費の一部は、市民の皆様や企業から寄付いただいた使用済切手や書き損じはがきが活用されています。

☆使用済切手、書き損じはがき、ご自宅などで使われなくなった車いす(破損していない物)がありましたら、北上市社会福祉協議会へご連絡ください。



声の広報・点字広報をお届けします

当協議会では、ボランティアの方に協力をいただき、視覚障がい者を対象に「広報きたかみ」や「社協だより」などを録音・点訳した「声の広報」、「点字広報」を作成し、無料でお送りしています。

「声の広報」または「点字広報」を聞いてみたい、読んでみたい方、または近くに必要とされている方がおりましたら、お問い合わせください。

- 【対象者】北上市内在住の視覚障がい者
- 【作成物】○声の広報：「広報きたかみ」「市議会だより」「社協だより」など
○点字広報：「広報きたかみ」
- 【利用料】無料(送料もかかりません)
- 【お届け日】広報きたかみ発行日の翌週火曜日(月2回)
- 【お問合せ】地域福祉課福祉推進係

●当広報紙内で、問い合わせ先電話番号の記載がない記事については、全て下記にお問い合わせください。
北上市社会福祉協議会 電話 64-1212

●北上市社会福祉協議会ホームページもぜひご覧ください。

<https://www.kitakami-shakyo.jp/>

